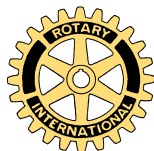


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2008～2009年度 国際ロータリー 李 東建（リー・ドンカン）会長テーマ

Make Dreams Real 夢をかたちに

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 塚 本 幸 夫
幹事 廣 根 実 順
会報委員長 今 村 順

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2606回例会プログラム

[当年度 = 7 回目；当月 = 1 週目]

2008年（平成20年）9月1日(月)

〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. 国歌斉唱
5. ロータリーソング斉唱……奉仕の理想
6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
7. 食事
- 12:45 8. 会長挨拶並びに会長報告
9. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
10. 幹事報告
11. 出席報告
12. ニコニコボックス報告
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(9/10)……職場例会（職業奉仕委員会）
12:30～碧南火力発電所
※9月8日(月)の例会変更分です。
(9/15)……休会（法定休日）
- 13:00 14. 本日のプログラム
卓話 「FC刈谷について」
講師 かえるスポーツクラブ
会長 星野 勝利 様
(紹介者 毛受 豊 会員)
15. 謝辞
16. 点鐘……〈会長〉
17. 閉会宣言
- 13:30 18. 散会

出席

会員総数 94名 出席免除 20名
出席義務者+免除者の内例会出席者 89名
欠席 8名 出席率 91.01%
前々回（8/18）の修正出席率 100%

会長報告

- 1) 8月27日に刈谷市共同募金委員会に出席して参りました。

幹事報告

- 1) 9月からロータリーレートが、1ドル108円に変更されました。財団へのご寄付、引き続きよろしくお願いたします。
- 2) 次週9月10日は、碧南火力発電所での職場例会です。バスに乗られる方は、11時15分商工会議所出発ですのでよろしくお願いたします。
- 3) 11月15日・16日の両日、ウェスティン・ナゴヤキャッスルにて地区大会が開催されます。出席義務者の理事・役員・各委員長および地区委員の皆様、並びに新入会員の皆様は、どうぞよろしくお願いたします。
- 4) 先にお願いたしました『ロータリーを考えるアンケート』のご提出ありがとうございます。皆様からご提出いただいた貴重なご意見を、片山ガバナーにお伝えすべく、これから整理・集計して参ります。ただし、それに少し時間もかかりますので、その間でまだご提出いただいていない皆様は、あと1週間程度のうちにご提出いただければ幸いです。よろしくお願いたします。

副会長あいさつ

大音 祖瑛



本日は、塚本会長がご欠席ですので、副会長の大音が代理を務めさせていただきます。

9月1日は「防災の日」であります。大正12(1923)年9月1日の関東大震災に因んで制定された記念日であります。9月1日は、年にもよりますが、二百十日になることが多く、「災害への備えを怠らないように」との戒めを込めて、昭和35(1960)年に制定されています。制定の前(1959)年には、当地方では伊勢湾台風による大災害がありました。

かつて9月1日は関東大震災の犠牲者の慰霊祭が中心の行事でありましたが、この「防災の日」となってからは、全国的に防災訓練が行われるようになりました。この日が制定されて、50年近くなる訳ですが、私は、そんなに古く制定されていたとは思いませんでした。昨日、東京では直下型の地震が発生したと想定して、約15,000人が参加されて、都内11ヶ所でいろいろな訓練が行われたと報道されていました。愛知県主催の訓練は、昨日碧南市において行われる予定でしたが、岡崎市などの水害があり、中止となりました。

関東大震災につきましては、死者・行方不明者は、約10万人、避難者数、約190万人、住居の全・半壊、約25万戸、焼失住居は、約44万戸と記されています。阪神淡路大震災より、はるかに大きな災害であったと思われます。

私の経験した大きな地震は二つあります。一つは、昭和19(1944)年12月7日、昼頃発生した東南海地震であります。三重県志摩半島沖20kmを震源とし、M7.9とされています。私はその時、幼稚園で弁当を食べており、あわてて他の人達と一緒に園庭へ出た思い出があります。廊下の天井は、たれ下がり、庭の記念碑が倒れました。そして、家へ帰ると境内の鐘楼も倒壊していました。この地震後の津波では、三重県尾鷲地方では大災害が起き、その地方では壊滅的な被害がありました。

二つは、翌年1月13日午前3時38分発生 of 三河地震。前年の東南海地震の最大級の余震とも言われていますが、震源地は三河湾。死者・行方不明者、約2,000人、家屋の全・半壊、約2万戸、死者が多かったのは、現在の西尾市、安城市、吉良町などでした。

これらの地震は、太平洋戦争中のことなので報道管制があり、数字的には正確でないと言われています。いずれにしても、子供であった私は、とても怖い思いをしました。

また、これらの地震がいつ発生しても、おかしくないと言われていました。

「防災の日」にあたり、私達も、地震災害に気をくばり、その気持ちを忘れることなく、心の準備、物質的な準備等をして、生活しなくてはならないと思います。

お 祝 い

喜寿のお祝い



市川 裕士 会員

喜寿のお祝い

黒田 義之 会員

古稀のお祝い

三ツ松芳隆 会員

中村美智雄 会員

9月の会員の誕生日…鈴木孝平、黒田義之、市川裕士、平野和一、羽田育哉、石原鈞、三ツ松芳隆、中村美智雄、神谷龍司、前田孝司、鈴木辰男、鈴木豊、出口達也会員。

配偶者の誕生日…石原章代(鈞)、黒田悠子(義之)、杉山節子(拓央)、佐藤三代子(義雄)、鈴木さえ子(辰男)、廣根典子(実)、深谷慶子(稔彦)、今村典子(順)、横山知子(宜幸)、兵藤千春(文男)、天野武彦(櫻子)、小林美千代(裕幸)様。

結婚記念日…水野宏幸、加藤繁則、伊藤節夫、黒田義之 会員。

9月度入会記念日…鈴木孝平、鬼頭勝彦、杉浦芳一、加藤哲也、加藤俊二、深谷稔彦、野村紀代彦、権田銀弘、南健会員。

卓 話

「FC刈谷について」

かえるスポーツクラブ会長 星野 勝利 様



FC刈谷(フットボールクラブ刈谷)は、1996年から刈谷市のサッカー文化を大きく引っ張ってきたデンソーサッカー部が、2005年にJFLでの歴史を終えたのを受け、運営に関わってきたボランティアメンバーが中心となり、市民クラブ化を検討し立ち上げました。

企業中心のスポーツが定着している刈谷市では、初めての市民レベルのスポーツクラブで、NPOかえるスポーツクラブが運営母体となっています。

FC刈谷の活動としては、市民サッカークラブとしての運営、青少年育成事業(FC刈谷サッカーアカデミー、幼保巡回指導、子ども会との清掃活動)、環境保全事業(ホームゲーム、イベント等でのゴミの分別収集、清掃センターへの持ち込み)、国際交流事業(国際交流協会

と合同での、刈谷在住の外国人親子とのサッカー交流)の4つを柱として、取り組んでいます。

当面の課題としては、次の3つがあります。

まず、財政基盤が弱いことです。現在、賛助会費について、法人は1口50,000円、個人は大人1口5,000円、お子様は1,000円をお願いしています。賛助会員数は、法人95社、個人約500名です。

広告収入は、フィールド看板1基につき35万円です。また会費収入は、社員、選手とも別に定める金額を負担してもらっています。事業収入としては、入場料、グッズ、サッカーアカデミー授業料等の収入の他、特に自動販売機の販売手数料では、刈谷ハイウェイオアシスさんに大変お世話になっています。

これら全収入のうち、約60パーセントが賛助金収入であり、今後は、自主財源である事業収入の割合を高めていくことが大切だと思っています。

次に、観客数が少ないことです。何とか、毎試合を千人規模にしたいと考えています。今年8月9日のホームゲームでは、商工会議所青年部の皆様の動員のお陰で、最高の1,800人の観客にお越しいただきました。

今後は、選手による出迎えや見送り等、選手とファンとの関係をもっと強化していきたいと考えています。

最後に、事務局スタッフが不十分なことです。小規模で安定していないので、なかなか優秀な人材が集まりにくいのが実情です。財政的にも厳しく、処遇面で課題があります。

さて、FC刈谷の将来展望についてですが、Jリーグを目指そうとか、現状ではとても無理だとか、様々なご意見をいただいております。

J2に上がるには、ホームゲームで15,000人が固定席で収容できるスタンドがあること、財政的基盤が確立されていること、JFL18チーム中4位以内であること、の3つの要件があります。

将来に向けてどういった形で進めていけばいいのか、難しいところですが、今後は役員の皆様をはじめ、それぞれの立場の人からアドバイスをいただき、慎重に取り組んでいきたいと考えています。

FC刈谷のメンバーは浮氣哲郎監督はじめ29名、すべてアマチュアで、大変真面目な良い選手ばかりです。昼間は地元の企業で働き、毎晩夜7時から9時まで練習、土日はホームもしくはアウェイでゲームということで、仕事、練習、試合と大変忙しい日常ですが、企業の皆様の温かいご配慮のもと、一生懸命頑張っています。

どうか、引き続きご支援ご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。